

## いよいよ日本のデータ連携が本格化！

### ～DPC が国際標準 NGSI による 4 社接続実証に成功～

一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会 (<https://dpc-japan.org/> 所在地：東京都港区、代表理事 奥井 規晶、以下 DPC) は、国際標準である NGSI(\*1)による、富士通株式会社・日本電気株式会社・日鉄ソリューションズ株式会社・TIS 株式会社の 4 社のプラットフォーム接続実証に成功しました。

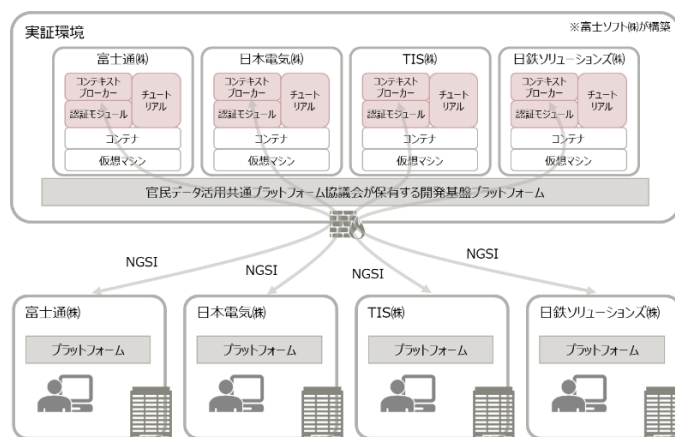
NGSI は日本発の国際標準ではありますが、これによるデータ連携は、特に欧州で豊富な実績があります。DPC は、日本政府の「官民データ活用」政策において、多様な利活用者が共通に使える国際標準ベースのプラットフォームが必須と考え、NGSI による共通プラットフォームの社会実装を進めています。

今回の実証は、DPC のプラットフォーム接続実証委員会（主査：富士通株式会社）を中心とした、技術ガイドンス委員会（主査：日本電気株式会社）、活動促進委員会（主査：富士ソフト株式会社）の 3 委員会合同で実施しました。システム環境としては、活動促進委員会が構築・運営する DPC 独自の開発・テスト環境上で行われ、各社のプラットフォームが、NGSI の API(\*2)を介してデータ連携が可能な事を確認しました。これにより日本のデータ連携が本格化していくこととなります。

DPC は今後とも、民間各社が展開する様々なプラットフォームとの接続連携の実証を行い、実証活動を通じた官民データ活用共通プラットフォームの利活用における課題の整理を推進することで、官民データ活用共通プラットフォームの社会実装促進による Society5.0 社会の実現に貢献していきます。

尚、この接続実証の詳細については、「3月14日第3回事例研究会報告資料」の追加として、このプレスリリースの発表と同日以内に、DPC のホームページにて公開します。

#### 今回の接続実証のイメージ



■ 一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会（DPC）について

日本の強みを発揮しつつ、低コストで相互連携や横展開が可能な官民データ活用を実現して社会課題解決へ貢献するため、日本発の国際標準である NGSI 等のオープン API を活用したエコシステムを形成し、官民データ活用共通プラットフォームやその上で稼働する各種サービスを構築し、国内外での横展開をはかることを目的とした民間組織で、国内主要 IT 企業及びスマートシティ先進自治体が参加しています。

\*1: NGSI : Next Generation Service Interfaces。Open Mobile Alliance が 2010 年に初版を仕様策定した次世代サービスインタフェース。最新版 NGSI-LD(Linked Data)は ETSI(欧州電気通信標準化機構)により公開された。

\*2: API : Application Programming Interface。プログラムからソフトウェアを操作するためのインターフェース。

2019 年 4 月 19 日

一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会

<本件に関するお問い合わせ>

一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会 事務局

TEL:03-5419-7171 FAX:03-5419-0597 MAIL:jimukyoku@dpc-japan.org